

令和３年度事業計画

令和３年度は、新学習指導要領が中学校でも小学校に引き続き開始される重要な年である。将来、答えの無い時代を生き抜く児童・生徒は、「主体的・対話的で深い学び」を通じ、社会生活での課題を発見し自ら考え解決策を見出す資質・能力の獲得を目指す。観察実験から理科が先頭になり、児童生徒の資質・能力の育成支援を行う。しかしながら新型コロナウイルス感染症による断続的な制限措置が学校に大きな影響を与える。できる限り実験観察が継続できるよう対応策を支援する。また協会においてもオンラインならびに多様な形態の活用により、活動が滞らないように進めていく。

1 都道府県・市区町村・学校法人を問わず、すべての学校が観察・実験が十分に実施できるよう全力をあげる。

1-1 理科の実験観察に必要な環境整備が円滑に実施できるよう、十分な予算の確保と、申請手続きの告知や研修などの広報・支援業務を強化する。

- 国や自治体における実験観察の予算が潤沢に用意されるよう働きかけを行うとともに、設置者が予算申請を適切に行えるよう支援活動を強化する
- 申請が進まず理科教育環境整備が進まない地域の市区町村に向けて、都道府県等に協力をいただき啓発活動を実施する。
- 事業申請・管理台帳作成等の実務セミナー、個別相談会を実施、国庫補助事業の手続きの理解を広める。
- オンラインの有効活用を進め、適宜適切な媒体を用いて設置者と学校への正確かつタイムリーな情報伝達を図り、理科教育設備整備事業や台帳作成についての普及活動を継続する。

1-2 このコロナ禍でも理科室での観察実験が継続できるよう支援する。

- 学校での観察・実験授業が安全に実施できるよう各種支援活動を推進する。

1-3 新学習指導要領に伴う理科教育設備整備事業の新基準、台帳の改正についての普及を図る

- 理科教育設備整備新基準普及と、新たに必要とされる観察実験機器についての周知を図る。
- 台帳改正の内容の広報ならびに、使えない・古い観察実験機器の廃棄促進の周知徹底を図る

1-4 観察・実験の拡大強化を促進するための調査、分析活動の充実

- 学校現場の現状及び課題を調査・分析し、その結果を活かした協会活動を進める。

1-5 情報端末の児童生徒一人一台が実現した環境の中での実験観察の在り方を考える

- 観察・実験機器と情報端末の接続ならびにデータ分析など、観察・実験を重視するなかでの情報端末の利用の在り方を調査、検討する。

- 2 「理科の授業は理科室で」の実現を目指し、理科室および周辺環境の整備充実や観察実験がサポートされる環境整備を推進する
 - 理科室での実験台・収納戸棚・安全施設の充実や理科準備室の整備のため、文教施設全般についての仕組みを把握し、理科教育施設の質的、量的向上を目指す。
 - 「観察・実験」で必須となる消耗品予算の確保と継続に向けた啓発活動の展開も推進する
 - 理科実験支援員が十分に配置されるべく拡充に向けて活動する。
 - 観察実験の拡大に向けて、小学校を中心とした観察実験指導力向上セミナーの開催及び支援活動を行う。
- 3 教育用理科機器の安全・品質向上ならびに研究開発に関する事業の実施
 - 安全・安心に実験機器が使用できるように、刊行物の作成や配布を通じて啓発を図る。
 - 教育用理科機器の品質向上のための活動や、諸外国における理科教育の調査を進める。
- 4 広く社会での理科教育推進の理解が進むような諸活動の推進
 - 有識者、国会議員等に理科教育の意義を訴え将来に向けての世論喚起を図る。
 - (仮称)科学技術教育振興法等、将来の抜本的な理科教育改善に向けた活動の継続。
- 5 理科教育の普及啓発に関するその他事業の実施
 - 自然災害被災地区における出前授業を通じ、防災、自然災害に対する関心と科学知識が実践で役に立つ学習を目指した活動を行う。
 - 各種理科教育啓発事業への協力および参加。
- 6 関係機関・諸団体との協力活動の推進
 - 理科教育を推進する諸団体への活動支援事業の実施。
 - 関係機関・諸団体との相互協力の推進。
- 7 会員・関係者に対する活動の拡大
 - ホームページ等による広報活動の充実と会員に対するサービスの拡充。
 - 毒物及び劇物取扱責任者資格試験の受験への支援を継続拡大する。
- 8 公益社団法人として協会の基盤確立を実施
 - 公益事業の拡大とそれを支える健全なる会計財務運営を図る。
 - 会員数・口数の拡充に努め、財務的基盤の確立を進める。

以 上